

秋の燕岳(2704m)～蝶ヶ岳(2677m)山行記録



燕山荘付近から縦走路と槍ヶ岳を臨む

日 時：

2015年9月28日(月)～10月1日(木)

メンバー：

L 田邊 浩二、大和義孝(記録)

コースタイム：



9月28日 新宿15:00(あずさ21号)＝ **大和 義孝** **田邊 浩二**

18:28 穂高駅 18:35＝(タクシー)＝19:30 中房温泉(泊)

9月29日 中房温泉6:00～6:43 第一ベンチ6:50～第二ベンチ7:15～7:55 第三
ベンチ8:05～8:45 富士見ベンチ9:00～9:35 合戦小屋9:45～11:25 燕山荘
11:40～12:10 燕岳山頂 12:18～12:45 燕山荘 12:50～13:25 蛙岩 13:30～
13:50 大下り頭 14:00～15:00 標高2699付近 15:20～切通し 16:03～槍への
分岐 16:13～16:25 休憩 16:30～17:00 大天荘(泊)

9月30日 大天荘6:20～7:30 東大天井と横通岳の鞍部 7:35～9:00 常念小屋 9:20～
11:20 常念岳山頂 11:50～13:25 常念岳の下り終了点(2512m付近) 13:40～
14:40 標高2592m地点 14:50～最低鞍部 15:20～森林限界 15:50～16:15 蝶ヶ
16:20～横尾への分岐 16:40～17:15 蝶ヶ岳ヒュッテ(泊)

10月1日 蝶ヶ岳ヒュッテ 7:00～蝶ヶ岳山頂 7:05～7:35 最終ベンチ 7:40～8:30 休憩
8:45～蝶沢 9:05～まめうち平 9:50～力水 10:40～三股吊り橋 11:00～
11:25 三股駐車場 11:45＝（タクシー）＝12:00 ほりで一ゆ一四季の郷 13:30
＝（タクシー）＝13:45 JR 豊科駅 14:00＝14:20 松本 14:49（スーパーあずさ
21号）＝16:57 八王子 17:10＝18:30 東神奈川（解散）

9月28日(月) (晴) （自宅―新宿駅―穂高駅―中房温泉）

田邊さん、大和とも午前中に用が有り午後自宅を出発し、新宿発 15:00 の「あずさ 21号」松本行に乗る。松本から大糸線に乗り換え穂高駅で降りる。18時半あたりはもう暗い、依頼して有ったタクシーが待っていたのでそれに乗り込み中房温泉に向かう。曲がりくねった山道を一時間弱程で中房温泉に着く。時刻は 19:30 である、20:00 までに食事を済ませてほしいと言う事なので二人で一室の登山者用の部屋に荷物を置き、食堂に行き無理を言って頼んだ夕食を頂く、その後温泉に入り、就寝する。

登山客は 10 人弱程度で宿は静かである、



中房温泉 標高 1462m

9月29日(火) (晴) （中房温泉―燕岳―大天井岳（大天荘））

朝食は 6:30 からとの事なので前日に朝食弁当を作ってもらい、部屋でその弁当を食べ宿を 6:00 に出発する。我々より先に早立ちした人が 2,3 人いた。外は薄いガスに覆われている、1,2 分歩くと登山口になる、ちょうどマイクロバスが着いたばかりなので、大勢の人が登山の準備をしていた、我々は計画書をポストに投函し登り始める。



中房温泉玄関前で「いざ出発！」

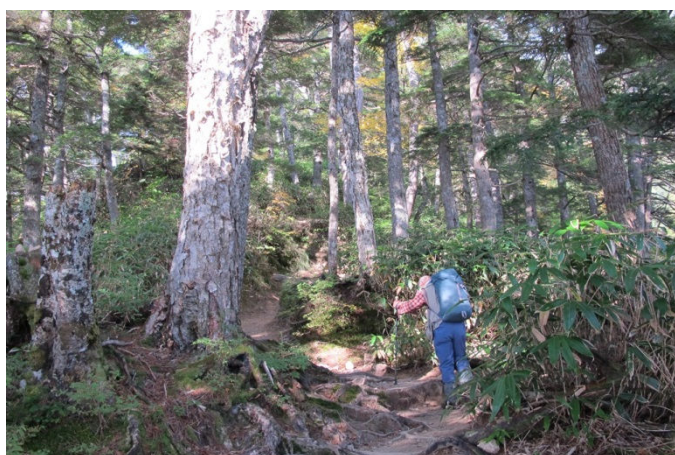


燕岳登山口、計画書投入ポストが有る



最初の休憩場所・第一ベンチ

登山道は大木の樹林帯の中の急坂をジグザグに登って行くが比較的良く整備されており歩き易い、40分程で第一ベンチに着く、ここから水場は近いが水は持ってきたので行かなかった。今までと同じ様な道を登って荷揚げ用ケーブルの下をくぐると第二ベンチである。



大木の有る針葉樹林帯の中の登山道



ナナカマドの紅葉

第二ベンチを過ぎたあたりから時々ナナカマドの紅葉が見られるようになり、また、ガスも晴れて青い青空が見える様になる。第三ベンチ、富士見ベンチとすぎると傾斜も緩やかになり紅葉も多く見れるようになる、9:35 合戦小屋に着く大勢の人が休憩している、こ



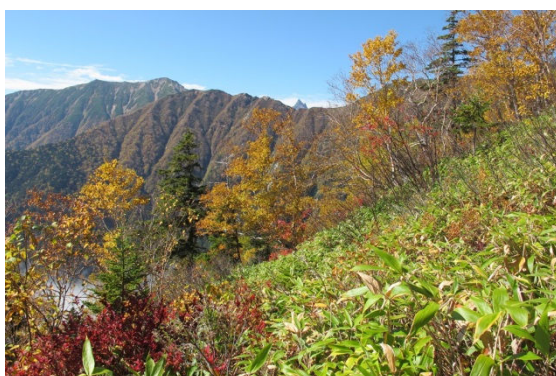
富士見ベンチを過ぎるとナナカマドが多くなる



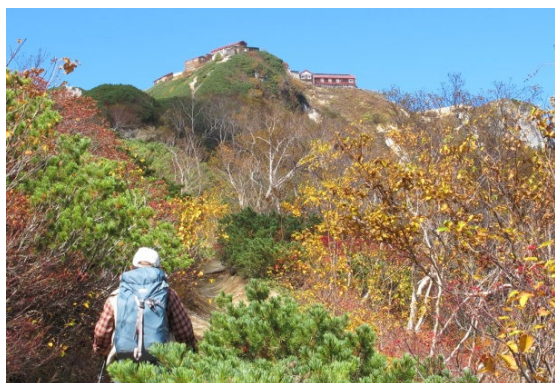
合戦小屋



合戦小屋前のベンチ



合戦小屋から少し上った所より遠くに常念岳



合戦沢の頭付近から燕山荘



後ろを振り返ると有明山

こは荷揚げ用ケーブルの終点でもある。合戦小屋から上部はダケカンバが多くなり、幹の白さと葉の黄色のコントラストが素晴らしい。合戦小屋から 20 分程で合戦沢の頭に出るここからは尾根道で暫く行くと燕山荘が山城の如く見える、山腹を右にトラバースすると燕山荘の下に出る。石の階段を登ると燕山荘である、時刻は 11 : 25 である。燕山荘からの



燕岳をバックに燕山荘の前で



燕山荘の前から燕岳



燕山荘の前から縦走路と槍ヶ岳へ突き上げる北鎌尾根

眺望は素晴らしい、北側に燕岳、南西側に槍ヶ岳、大天井岳が望める。

燕山荘のベンチに荷を置き大和だけが燕岳を往復することになり、燕岳に向かう、山道は花崗岩の砂利道で緩やかな下りの後、登りになる、途中メガネ岩の奇岩を見ながら登るが砂利で滑りやすい、頂上(2763m)には木の標識は無く石の標識が埋め込まれていた、ちょうどそこに若い女性が単独で来ていたので記念写真を撮ってもらう。田邊さんが待っているので急いで引き返す、往復に約一時間かかった。



燕岳にて、燕山荘から大天井岳へ伸びる稜線と槍ヶ岳



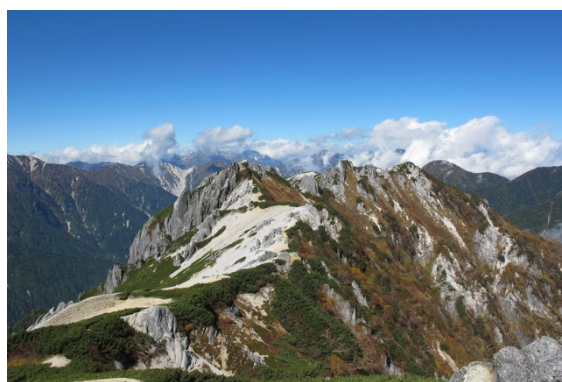
燕岳頂上の標識横にて



岩に埋め込まれた頂上標識



燕岳頂上の直下にあるメガネ岩



頂上から北側の北燕岳を望む

田邊さんと合流し大天井岳へと向かう、あまり上り下りのない榛松に覆われている道で稜線の右側（高瀬川側）を通る、高瀬川から吹き上げてくる風が強く冷たい。暫くすると幾つもの岩峰の林立する中を通る、蛙岩と呼ばれている岩が有るらしいが気が付かなかった、岩峰群の中を時々左側（信州側）に巻きながら進むと再び榛松の道になり大下りの頭に着く、ここからは急な下りになる。



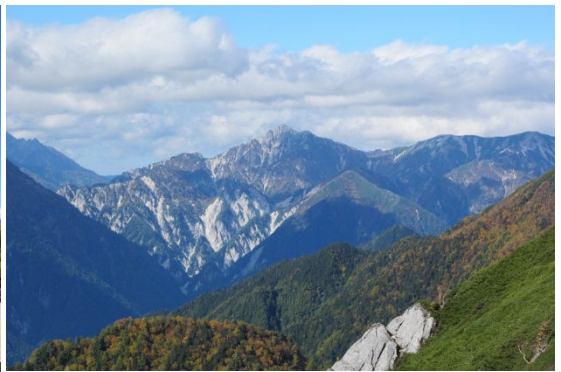
岩峰群を過ぎて後ろを振り返る



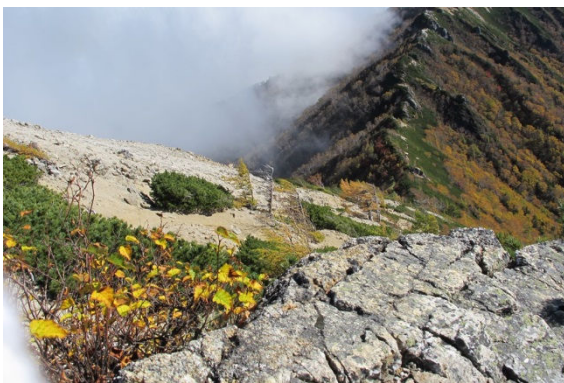
大下りの手前標高 2678m付近から大天井岳



大下りの頭にて



大下りの頭から鷲羽岳

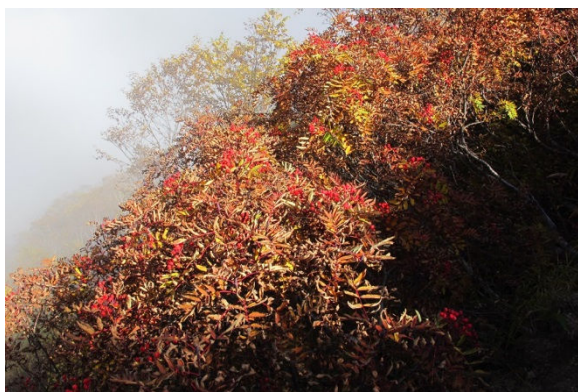


大下り

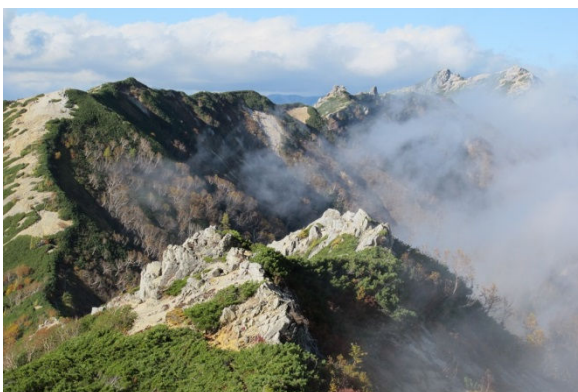


大下りを過ぎ少し上った所で信州側に行く

再び下ったと同じだけ登り返し、道が信州側に回り込むと風がなくほっとする、また信州側は稜線付近まで灌木が有り紅葉が綺麗である。標高 2699m付近で大休憩する。



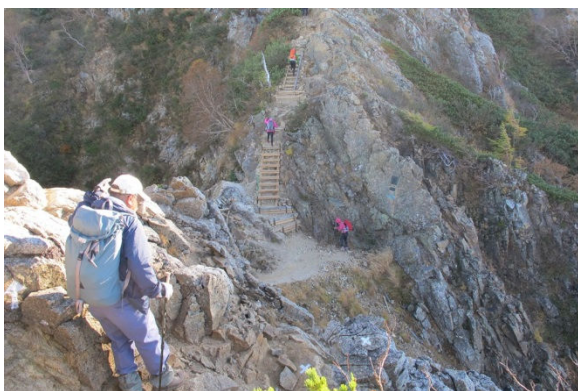
ナナカマドの紅葉と実



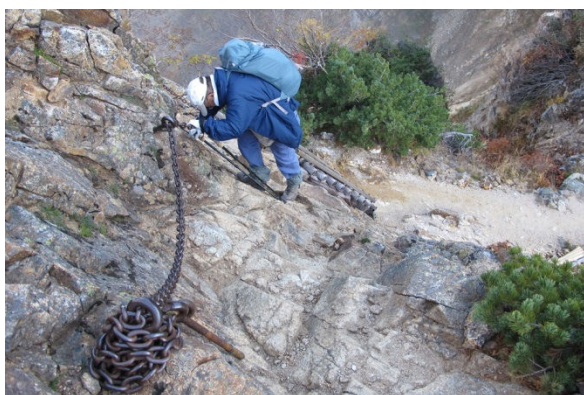
振り返ると遠くに燕岳、燕山荘が見える



標高 2699m付近からの大天井岳



切通し



切通しの鎖場



切通しを越え少し上った所の槍ヶ岳への分岐点

益々風が強く冷たくなり、田邊さんはウインドヤッケを着る、道はここから徐々に下りになり、一旦平坦になり、次に急な下りとなり鎖場と梯子を下ると切通である。ここに喜作レリーフがはめ込まれている。そのわきの階段を 20m ぐらい登り、暫くすると槍ヶ岳方面と常念岳方面の分岐点になる、我々は常念岳方面に行く、大天井を捲くように石がごろごろした道を登ると大天荘である。到着時刻は 17 : 00 である。



大天井岳山腹から歩いて来た道を振り返る



日が陰る大天荘前のテント場

予定では大天荘に着いた後、大天井岳に登る予定だったが着いたのが遅くなったので止め。翌日登ることも考えたが、朝食が5:45と遅く時間がないのであきらめた。夕食は17:30でメインディッシュが魚類か、肉類か選択できる、我々は肉類を選択した。寝床は蚕棚式で一階の通常8人で寝るところを4人で寝ることになり余裕があった。



大天荘の夕食（ハンバーグ）

9月30日(水) (快晴) (大天荘―常念岳―蝶ヶ岳 (蝶ヶ岳ヒュッテ))

5:00頃小屋の外にでると辺りはまだ暗いが月が煌々と輝いている、ご来光を撮ろうと暫く待っていたが寒くて30分以上も待っては居られないのでご来光は諦め小屋に戻る、朝食は5:45から始まり食堂の窓越しに朝日が射しこんでくる。今日は雲一つない快晴である。



朝5時 月が煌々と輝いている



朝日を浴びて大天荘を出発

6:20に大天荘を発つ、大天荘前のキャンプ場を突きり中天井岳に向かい緩い登山になり中天井岳は右に捲く、後はだらだらとした下りで東天井岳も右に捲き、東天井岳と横通岳の



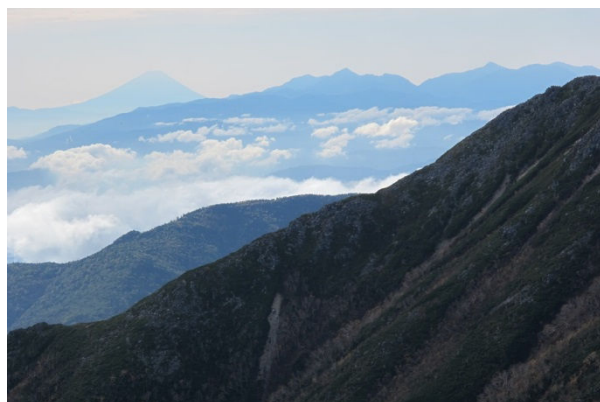
朝日に輝く槍ヶ岳



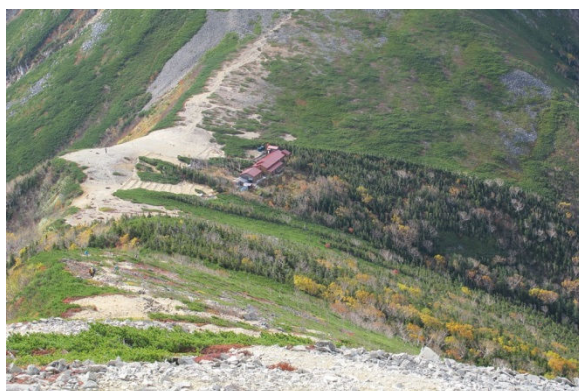
大天荘、後は大天井岳(2922m)



東大天井岳付近に行く高い山は常念岳



雲海の向うに富士山と南アルプス



眼下に常念小屋

鞍部に出る。横通岳の右の山腹をほぼ水平に進み稜線に出ると下の方に常念小屋が見え、そこから急な下りとなり一気に常念小屋まで下る。常念小屋には入らず、前のベンチで大休止。通常は地図の歩行時間より遅くなるのであるが、ここだけは大天荘から常念小屋まで地図では3時間かかるが2時間40分で着いた、下りだった事と最初の道のりで疲れていなかった為と思う。



常念小屋越に槍ヶ岳



常念岳を少し登った所から常念小屋と横通岳

常念岳の登りは今日一番の難所である、登山道は大きな石がごろごろしていて非常に歩き辛い、また、踏み跡がハッキリせず石に表示された○や×印を頼りに登って行く、頂上少し手前に三



頂上手前の三股への分岐点



常念岳頂上(2857m)



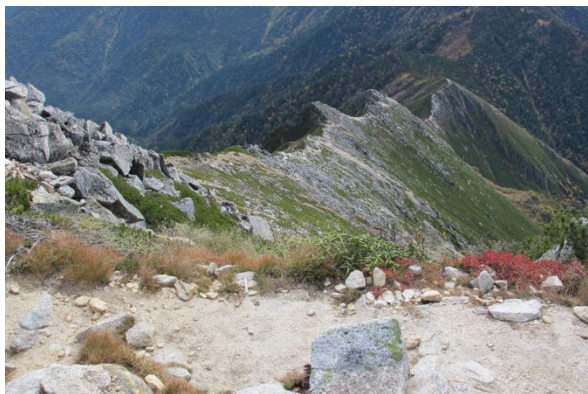
頂上の祠



頂上標識の前で

股への分岐点がある、頂上は大きな石の間に木の祠がある、この登りに要する時間は、地図では

1時間で有るが我々は2倍の2時間を要した。頂上より少し下ったところに平らな場所を見つけ昼食を摂る。下りは急な稜線沿いの下りで30分程下ると急な下りは終わり鞍部に出るが、途中踏み跡を頼りに進むと稜線より離れてかなり下ってしまい、間違いに気付き、大きな石と榛松



常念岳の下り



後方は常念岳

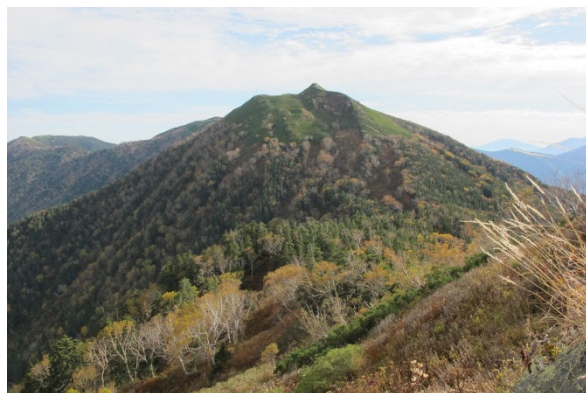


標高 2512m付近から常念岳



鞍部付近から蝶ヶ岳方面を望む

の上をトラバースし稜線の鞍部に出る、これよりなだらかな上り下りを繰り返し、道は稜線から離れ左側の樹林帯を下ると枯葉に覆われた小さな池が現れる、そこより少し下ると背の低い針葉樹林帯になり最低鞍部である、ここからは蝶槍の登りになる、30分程登ると森林限界にな



蝶槍



蝶ヶ岳と横尾への分岐点

り見晴が良くなる、そこから 30 分程で蝶ヶ岳の頂上に着く 16:15 で、あとは略平らな見晴らしの良い道を 1 時間も歩けば蝶ヶ岳ヒュッテで、明るい内に着く見通しが付きホットする。ケルンが沢山作ってある広場の様なところを通り、蝶ヶ岳と横尾へ下る分岐点に出る、チングルマ？の赤く紅葉した草が榛松の間に点在し美しい、ここからなだらかな登りとなり展望指示盤の横を通り蝶ヶ岳ヒュッテに着く、17:15 である。



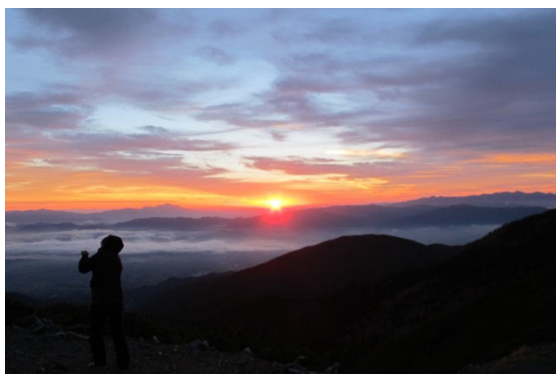
チングルマの赤と榛松の緑が織り成す平原

17:15 蝶ヶ岳ヒュッテに着く

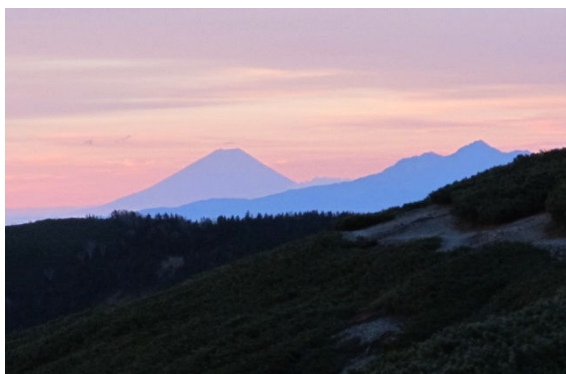
夕食は 17:00 からで我々が着いた時は食事が終わりにかけており、我々は特別に談話室の一角に食事を用意してもらい食べる。寝室は通常 4 人で使うところを 2 人で使い、余裕が有り快適であった。

10月1日(木)(晴のち小雨)(蝶ヶ岳ヒュッテ—三股駐車場—風呂(四季の郷)—豊科駅—帰宅)

朝食は 5:15 からである、今日の天気は午前中は晴れで午後から雨になる予想である。午前中に下ってしまうので心配ない。水は 1L で 200 円で、それぞれ 500mL 買う、少しのんびりし 7:00 頃ヒュッテを発つことにする。ヒュッテからタクシー会社に三股駐車場へ 11:00 頃迎えに来てくれる様電話する。ちょうど同じ所に下山する中年のご夫婦がいてタクシーを相乗りすることにし三股駐車場に 11:00 に待ち合せを約束する。歩く速度が違うので中年夫婦と我々は別々に行動する。ヒュッテを同時に出て中年夫婦はすぐ下山し始める



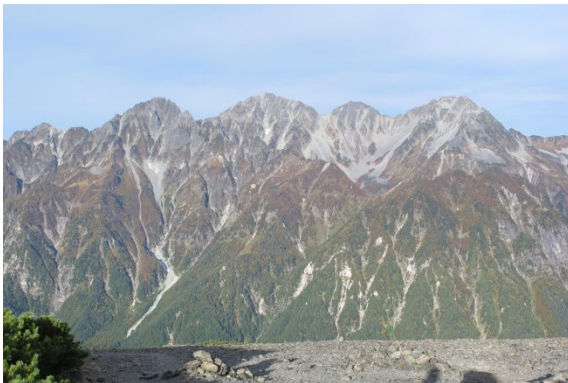
蝶ヶ岳ヒュッテからのご来光



富士山と南アルプス



蝶ヶ岳ヒュッテと常念岳



朝日を浴びる穂高連峰



朝日を浴びて槍をバックに



蝶ヶ岳山頂



徳澤園と三股への分岐点

が、我々は昨日時間がなく蝶ヶ岳山頂に行っていなかったので蝶ヶ岳へ行ってから下山する、山頂はヒュッテから緩やかな上りで5分程で着く、平原状になった山頂は標識が無ければどこが山頂か、分からない。朝日が眩しく、自分の長い影が平らな山道に映り、その向こうに穂高連峰、槍ヶ岳が朝日に照らされ鮮やかに見え感動する。山頂から少し戻ると三股への分岐標識が有り、右に下る、じきに森林限界になり森林帯に入ると最終ベンチが有り中年夫婦が休んでいたが、我々を見るとすぐ出発した、我々は一休みして追いかけるがなか



最終ベンチ



葉が落ちたダケカンバ越しに常念岳



ゴゼンタチバナのみ



まめうち平

なか追いつかない、道はかなり急な下りで山腹をトラバース気味に下る、蝶沢の上部を渡り、まめうち平には9:50に着く、予定では9:00着かなければ三股駐車場に11:00には着けない、休みも取らず歩き続ける、時々小雨が降ってくる、急な下りが終わり比較的緩やかな下りになり暫くすると力水と言う水場に着く、時間がないので、喉をうるおすだけで先を急ぐ、本沢を渡る吊り橋の手前で登ってくる単独行の人に会い三股駐車場までの時間を聞く、30分ぐらいかかると言う、吊り橋で11:00である、完全に間に合わない、吊り橋から5分位の所が常念と蝶の登山口でトイレがある、雨が本降りになる、ここから駐車場までは舗装された道を歩く、駐車場に着いたのが11:25である、タクシーと中年ご夫婦は居ない、タクシー会社に連絡すると待てないので出てしまったが20分ほどで迎えに行くとの事で、駐車場のトイレの軒下に雨宿りしながら待っていると、じきに迎えに来てくれた。タクシーで「ほりで一ゆ四季の郷」ホテルへ行き風呂に入る事にする。ホテルで相乗り予定の中年夫婦の夫に会い話を聞くとタクシー運転手に我々が降りてくるまで待ってくれる様頼んだが聞いて呉れなかったとの事。ホテルは綺麗で風呂も大きな露天風呂が有り気持ちが良い。1時間半程休み、13:30頃タクシーが迎えに来てくれて、豊科駅に行き、大糸線で松本に出る、松本の駅構内で昼食のそばを食べ、14:49発スーパーあずさ22号に乗り八王子で降り、磯子行の横浜線に乗る、横浜まで行く予定で有ったが、踏切に人が立ち入ったと

かで 30 分程遅れ東神奈川止まりになった、我々もここで解散しそれぞれ帰宅した。



ゴジラの木



三股の常念岳、蝶ヶ岳登山口

以上

参考資料

タクシー代金

穂高駅	—	中房温泉	: 7,700 円
三股駐車場	—	ほりで一ゆ四季の郷	: 3,200 円
ほりで一ゆ四季の郷	—	豊科駅	: 3,000 円

宿代（一泊二食税込）

朝食時刻

中房温泉	: 9,500 円	6 : 30
大天荘	: 9,500 円	5 : 45
蝶ヶ岳ヒュッテ	: 9,500 円	5 : 15